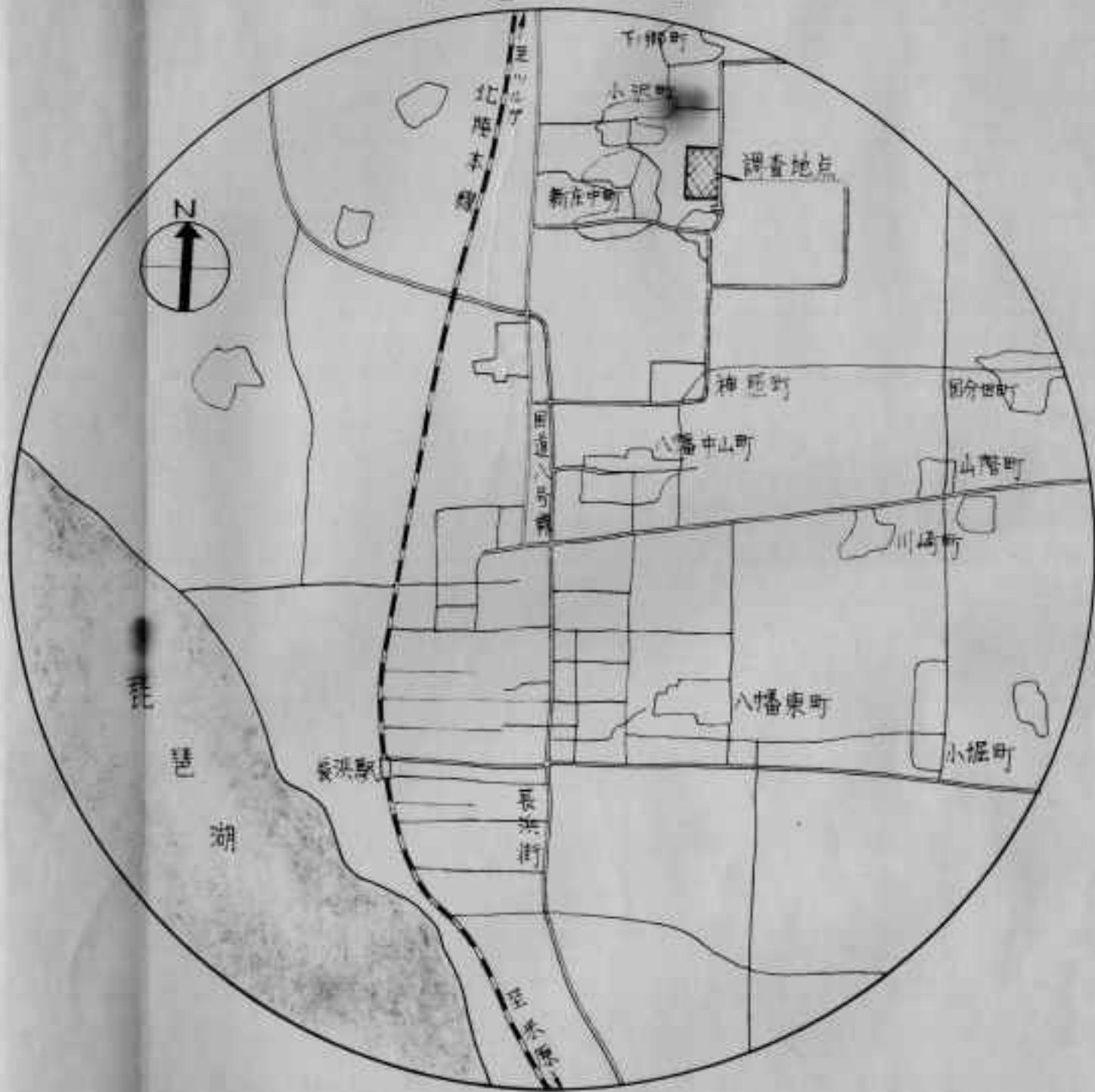
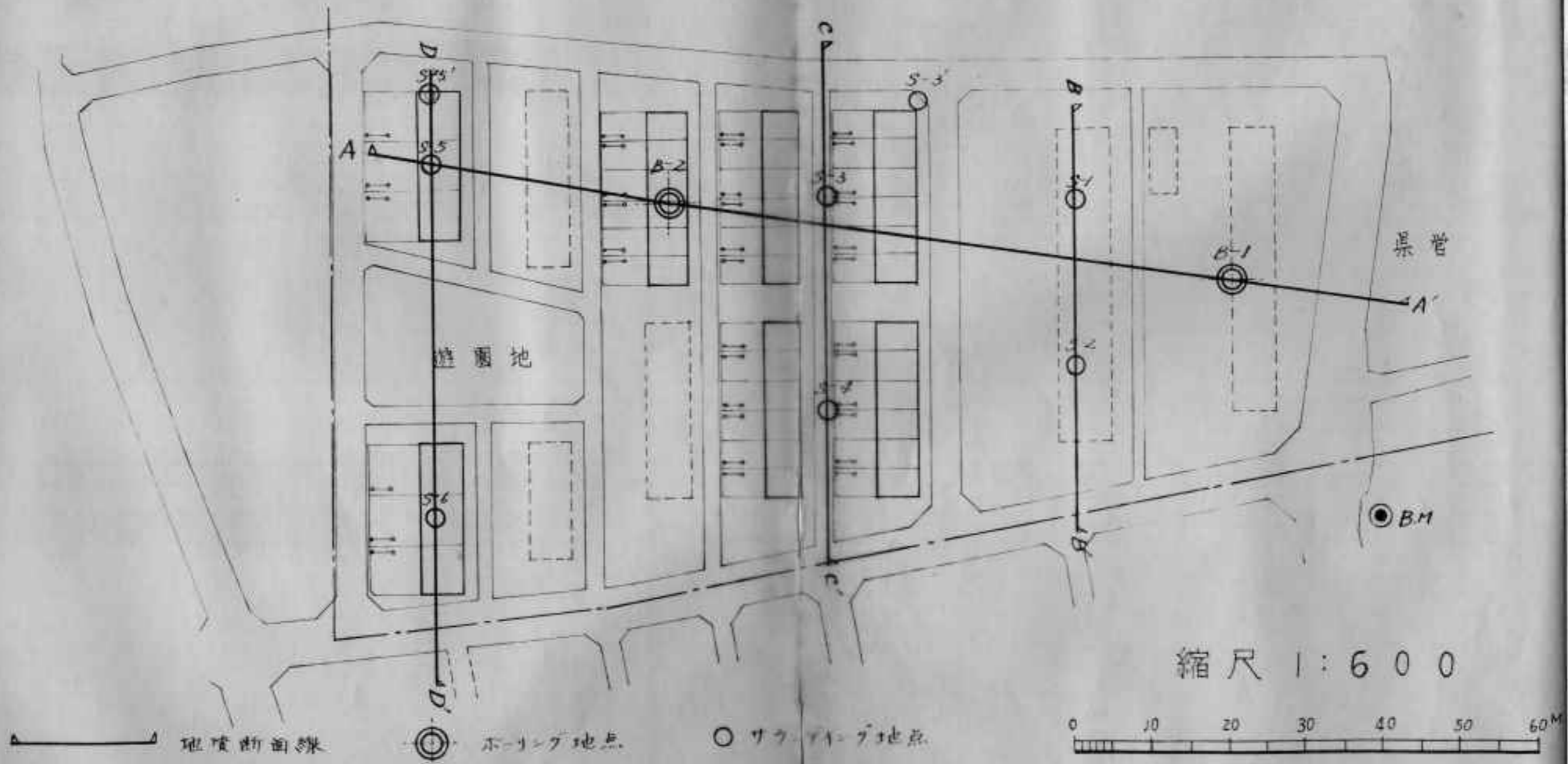


附近見取圖



調査地点位置

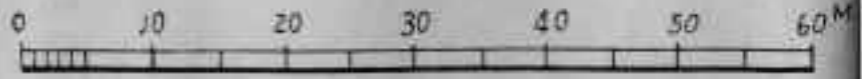


地境断面線

ボリング地点

サウンディング地点

縮尺 1:600

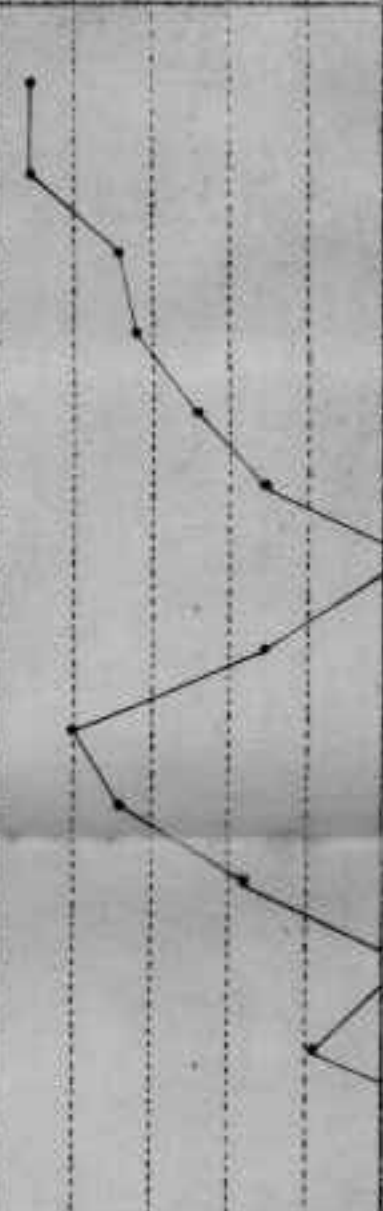


地質柱状図 (No B-1)

調査地員 長浜市新庄町
調査年月日 昭和59年7月18日~7月22日

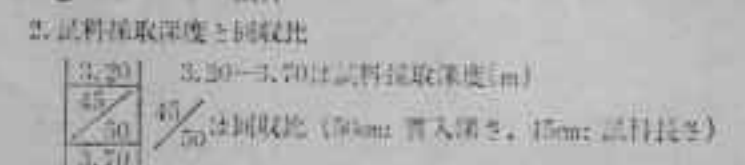
標高 +10.119m
孔内水位 _____

標高 m	層厚 m	柱状 図	色調	地質名	観察	相対 密度	相対 稠度	標準貫入試験					採取 方法	採取 深度 m						
								深度 m	N 値 30cm	10cm毎の 打撃回数					N値					
									10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50			
10.119	0.60	0.60	暗灰	砂礫(盛土)	最大粒径200% 普通粒径10~40%		軟	2.80	2/30	1/15	1/9	2/11							◎	2.80
			暗灰	砂質粘土 砂質シルト	上部:10%程度の礫と混入 腐植物及び電磁石混入		軟	2.73											◎	2.73
10.119	2.60	2.00		シルト質細砂	最大粒径200% 普通粒径3~10%		軟	2.00	4/30	1/14	1/6	2/8							◎	2.00
					全体:砂多量、含水量多		中	2.20	16/32	6/11	3/9	5/10							◎	2.20
					砂:礫の割合は5:5		中	2.32											◎	2.32
					部分的に砂多量、全粒 径3~		中	4.00	19/30	5/14	3/11	6							◎	4.00
					最大粒径35% 普通粒径3~10%		中	2.21											◎	2.21
10.119	3.35	2.75			全体:含水量多、見出し は2~3		中	2.00	26/30	7	7	11							◎	2.00
					砂:礫の割合は2:3		中	2.30	39/30	10	12	12							◎	2.30
					3%程度の礫が割合		中	2.00	50/30	4	22	7/4							◎	2.00
					下部:見出し粘土割合は 7%、含水量		中	2.00	39/30	11	11	12							◎	2.00
					最大粒径80% 普通粒径2~10%		中	2.30											◎	2.30
10.119	2.06	2.71			下部:少量の電石混入		硬	7.30	10/30	5/14	3/11	2/3							◎	7.30
10.119	2.70	0.64			含水量多		硬	7.30											◎	7.30
10.119	1.03	0.35			上部:腐植物と混入		硬	10.00	16/31	7	4/12	3/4							◎	10.00
10.119	0.63	0.60			全体:含水量多、見出し は2~3		硬	11.00	32/30	7	12	11							◎	11.00
					砂:礫の割合は5:5		硬	11.30											◎	11.30
					13.30~辺に粘土の花層 と換		硬	12.00	50/37	18	19	17							◎	12.00
					礫の割合は7~		硬	12.27											◎	12.27
					最大粒径35% 普通粒径3~10%		硬	12.30	41/30	19	13	9							◎	12.30
							硬	14.00	50/18	43	7/8								◎	14.00
10.119	15.27	4.62					硬	14.78											◎	14.78
							硬	15.00	50/20	21	29	5/2							◎	15.00
								15.22											◎	15.22



(注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
 ○-1 乱さない試料
 ◎-2 貫入試験機による試料
 ●-3 コアー試料

2. 標準貫入試験の注で10cm毎の打撃回数は最初の10cm貫入の要した打撃回数、20cm~30cmの間で要した打撃回数、30cm~50cmの間で要した打撃回数をそれぞれ示したものである。



新庄町(長浜)県公営住宅
新築敷地土質調査工事 **地質柱状図 (No. B-2)**

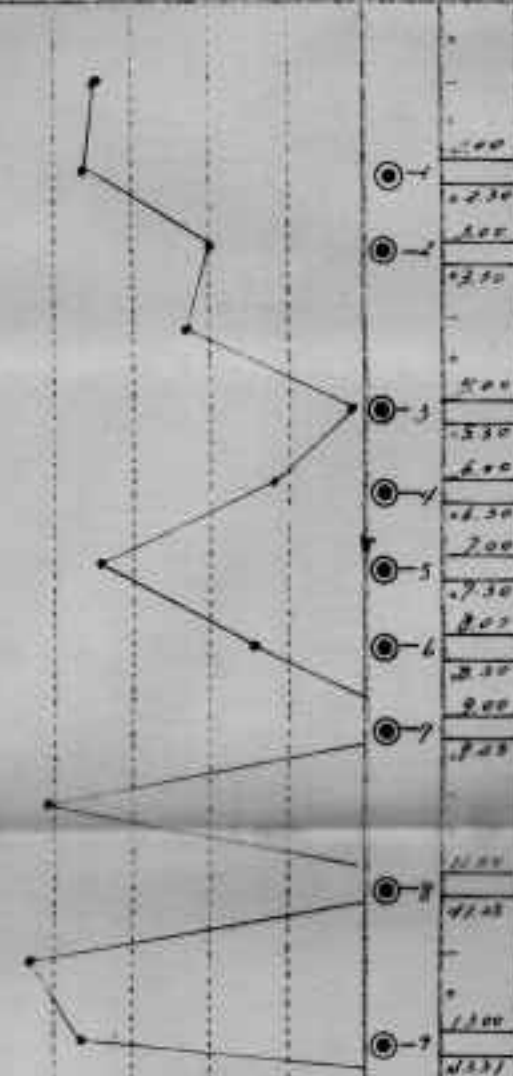
調査地 長浜市新庄町

標高 + 9.724m

調査年月日 昭和27年7月19日~7月17日

孔内水位

標高 尺	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	地 質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標準貫入試験					採取 方法	採取 深度 m					
									深度 m	N 値 Bl/cm	10cm毎の 打撃回数					N 値				
									10	20	30	0 10 20 30 40 50								
1.54	0.57	0.57	○	重	砂 礫 (盛土)	上部は砂と礫の混り			0.00	15/30	4	6	3							
2.11	0.71	0.20	○	暗	砂 礫	最大礫径 50% 含水量 普通礫径 5~10%			1.10	15/30	3	3	7							
2.82	1.65	0.80	○	暗	砂 礫	下部は砂と礫の混り			2.00	15/30	3	3	7							
2.89	2.39	0.67	○	茶	砂 礫	全体の含水量が多 上部は砂と礫の混り			2.50	20/30	7	10	13							
			○			2.0m辺に砂質シート を含む			3.00	27/30	7	10	10							
			○			礫径 10~15mm 及び砂若 し主として角礫が多			4.00	40/30	13	15	17							
			○	暗	砂 礫	最大礫径 10% 普通礫径 3~15%			4.50	40/30	13	15	17							
			○			700mm辺に 2.25mm 位の 粘土を挟む			5.00	40/30	13	15	17							
			○			砂: 礫の割合は 4:6			6.00	40/30	13	15	17							
			○			下部は細砂と粘土を 挟む			6.50	40/30	13	15	17							
7.00	2.28	2.49	○	重	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			7.00	30/25	11	14	15							
8.28	3.56	3.77	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			7.50	30/25	11	14	15							
8.99	4.27	4.48	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			8.00	30/25	11	14	15							
9.70	5.00	5.21	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			8.50	30/25	11	14	15							
10.41	5.71	5.92	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			9.00	30/25	11	14	15							
11.12	6.42	6.63	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			9.50	30/25	11	14	15							
11.83	7.13	7.34	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			10.00	30/25	11	14	15							
12.54	7.84	8.05	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			10.50	30/25	11	14	15							
13.25	8.55	8.76	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			11.00	30/25	11	14	15							
13.96	9.26	9.47	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			11.50	30/25	11	14	15							
14.67	9.97	10.18	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			12.00	30/25	11	14	15							
15.38	10.68	10.89	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			12.50	30/25	11	14	15							
16.09	11.39	11.60	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			13.00	30/25	11	14	15							
16.80	12.10	12.31	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			13.50	30/25	11	14	15							
17.51	12.81	13.02	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			14.00	30/25	11	14	15							
18.22	13.52	13.73	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			14.50	30/25	11	14	15							
18.93	14.23	14.44	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			15.00	30/25	11	14	15							
19.64	14.94	15.15	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			15.50	30/25	11	14	15							
20.35	15.65	15.86	○	暗	砂 礫	上部は細砂と粘土を 挟む			16.00	30/25	11	14	15							



(注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
○-1 乱さない試料
○-2 貫入試験機による試料
●-3 コア試料

2. 標準貫入試験の10cm毎の打撃回数とは最終の10cm 貫入に要した打撃回数、15cm~20cm の間で要した打撃回数、20cm~30cm の間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

3. 試料採取深度と回収比

3.20	3.20~3.70	試料採取深度(m)
45/30	47/50	回収比 (50cm 貫入時、15cm 試料長さ)
3.70		

スウェーデン式サウンディングテスト

No. S-1

調査名 長浜市新左衛門町

地盤標高 +9.947m

基盤($N_s > 500$)上面標高

調査地点 長浜市新左衛門町

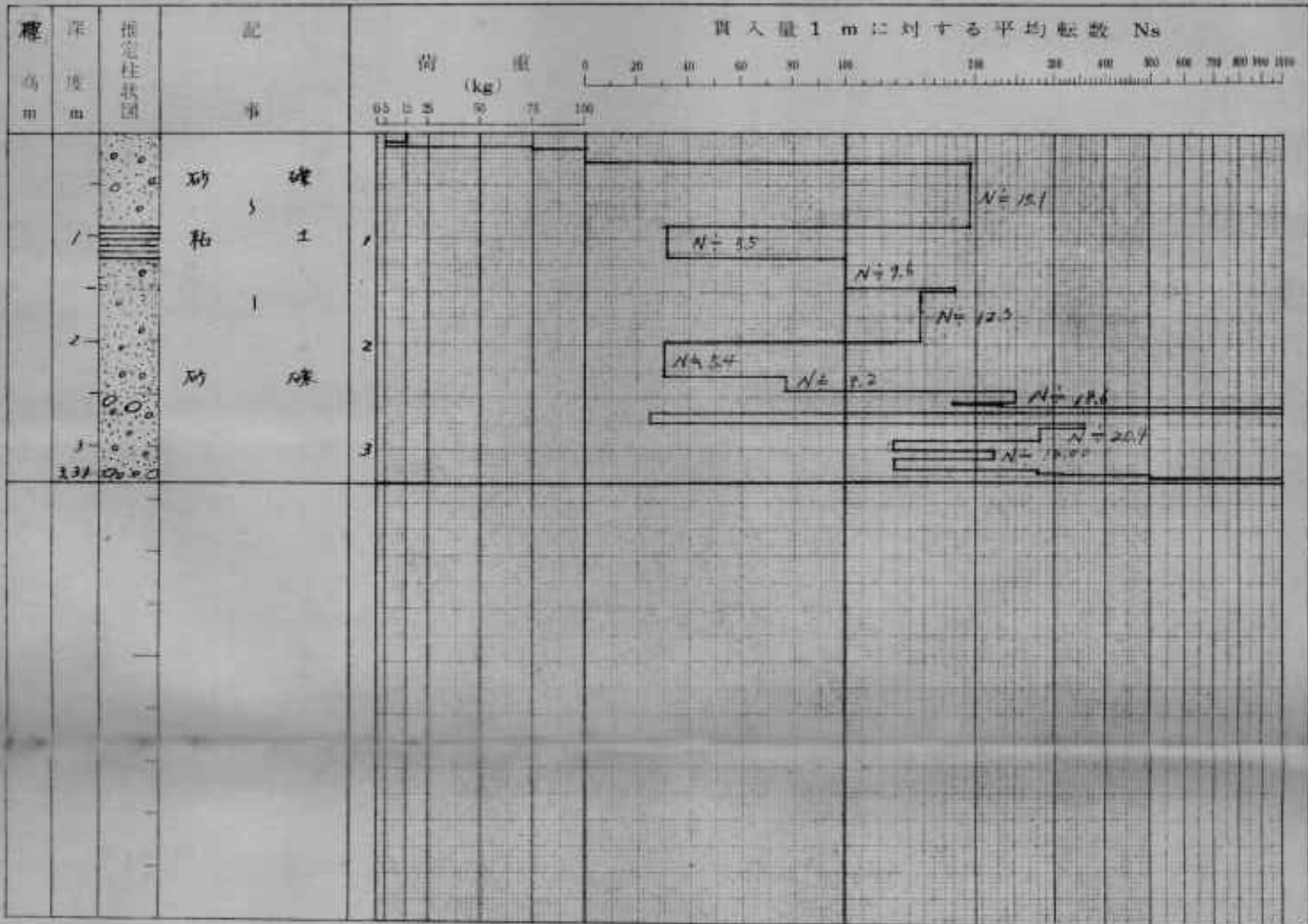
地下水位

調査責任者 北川 甫

調査年月日 37年 7月 21日

最終貫入深度 3.31m

調査者 中村 哲久



推定柱状図凡例



応用地質調査事務所

スウェーデン式サウンディングテスト

No. S-2

調査名 長浜市新左衛門町

地盤標高 +10.035m

基準($N_s > 500$)上面標高

調査地点 長浜市新左衛門町

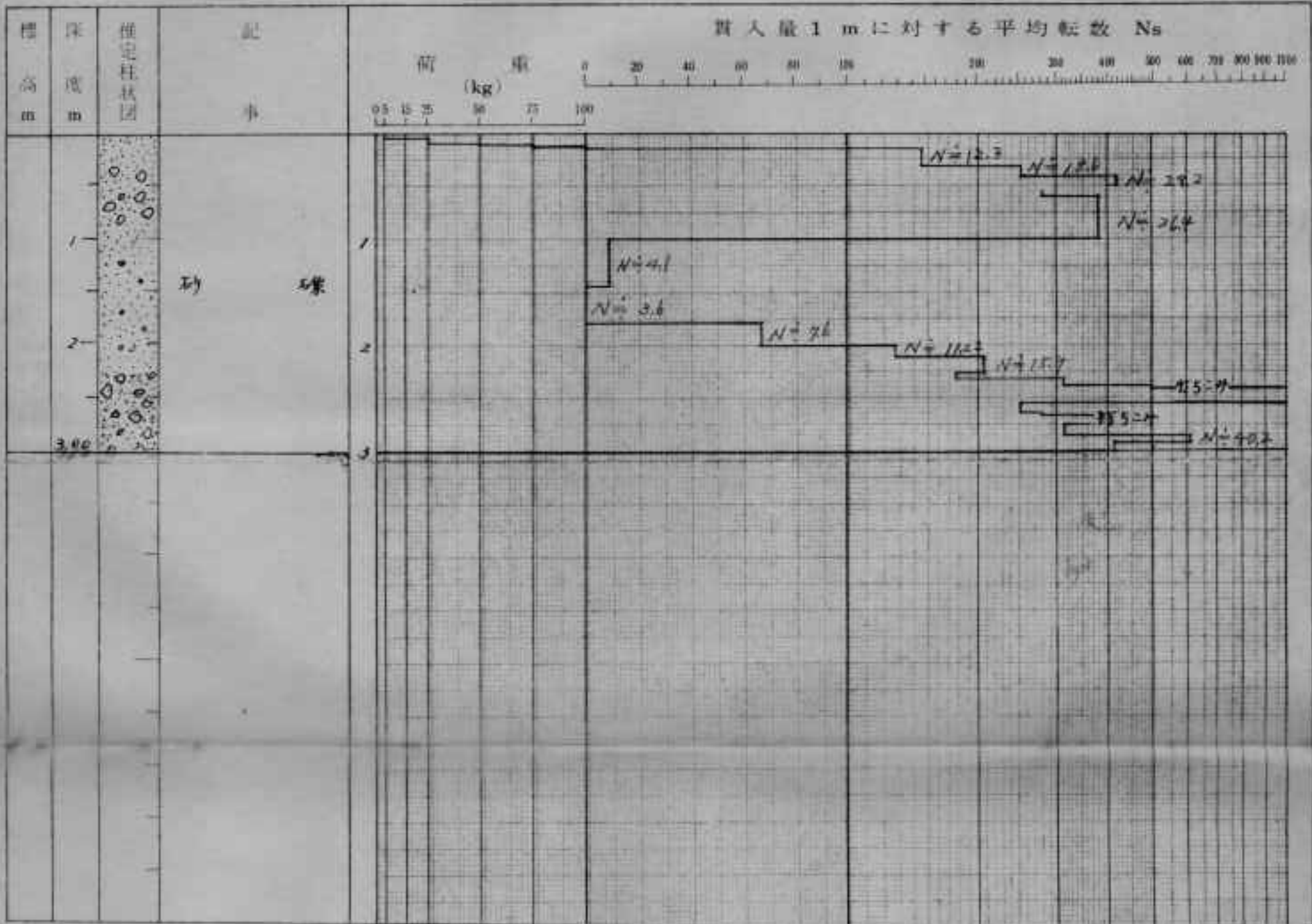
地下水位

調査責任者 北川 甫

調査年月日 37年 7 月 21 日

最終貫入深度 3.00m

調査者 中村 哲久



推定柱状図凡例



応用地質調査事務所

スウェーデン式サウンディングテスト

No. S-3

調査名 長浜市新庄町

地盤標高 7.724 m

基盤($N_s > 500$)上面標高

調査地点 長浜市新庄町

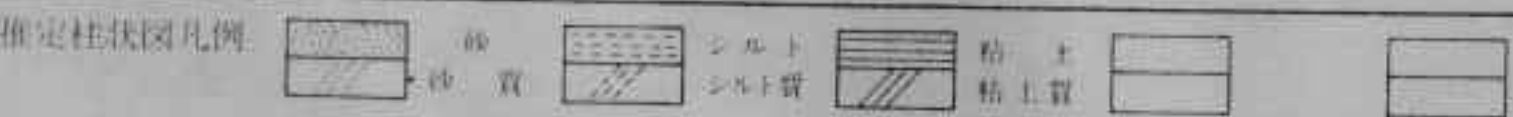
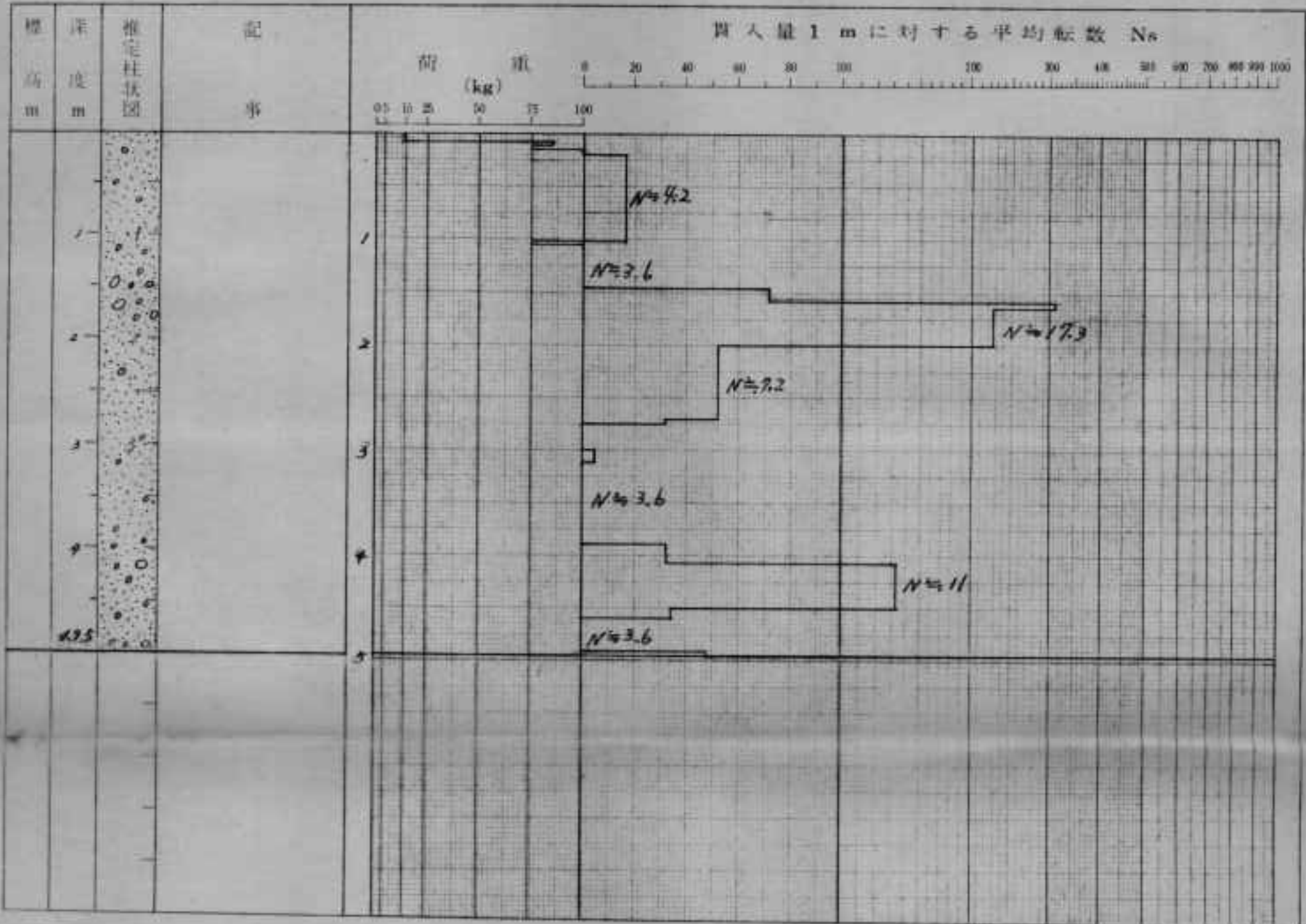
地下水位

調査責任者 北川 南

調査年月日 27年 7月 21日

最終貫入深度 4.95 m

調査者 中村 哲久



スウェーデン式サウンディングテスト

No. S-3'

調査名 長安市新庄弁断

地盤標高 + 9.732m

基盤($N_s > 500$)上面標高

調査地点 長安市新庄弁断

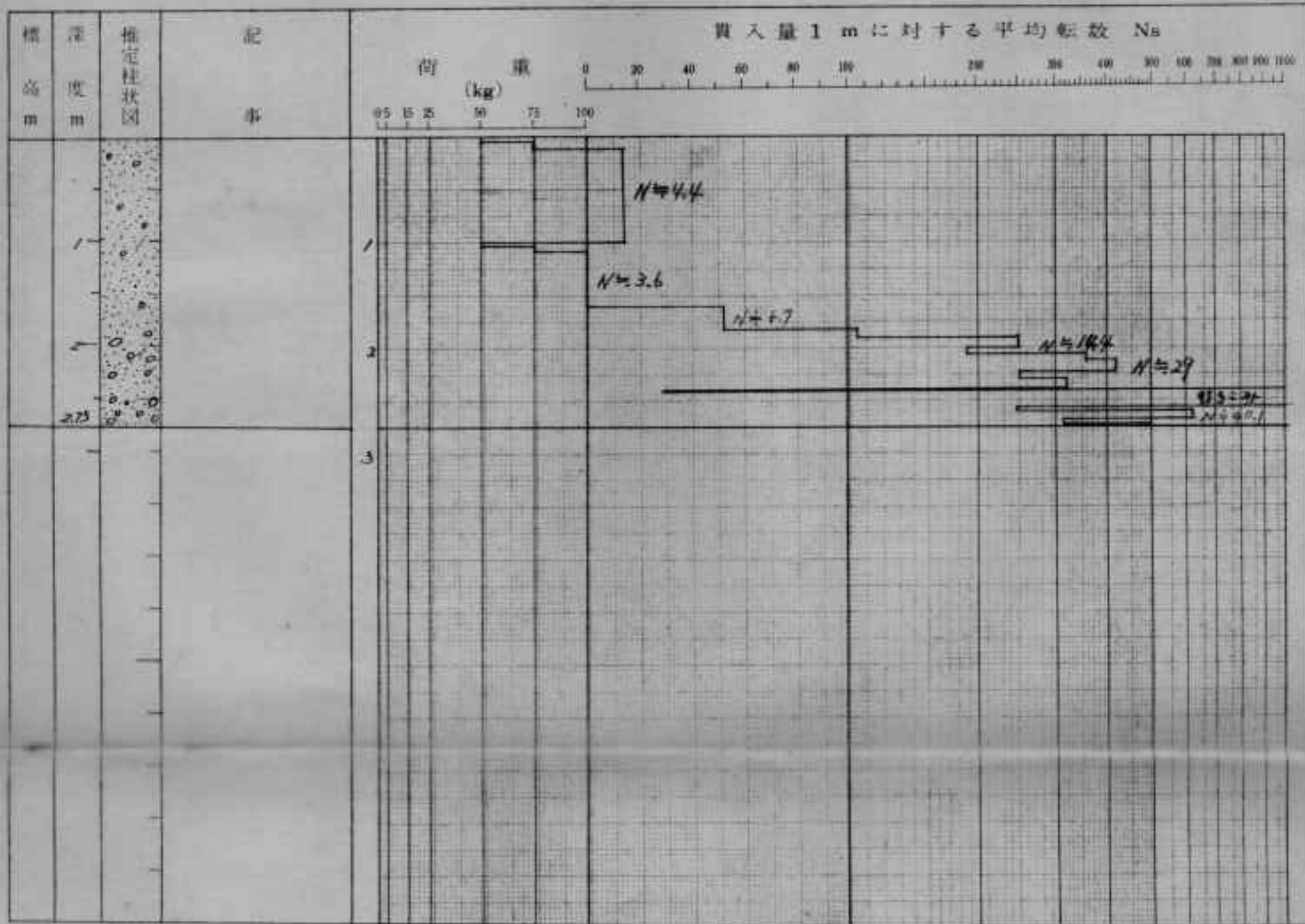
地下水位

調査責任者 北川 甫

調査年月日 39年 7月 21日

最終貫入深度 2.75m

調査者 中村哲又



推定柱状図凡例



応用地質調査事務所

スウェーデン式サウンディングテスト

No. S-4

調査名 新築地土質調査工事

地盤標高 9.764m

基盤($N_s > 500$)上面標高 _____

調査地点 長浜市新庄町

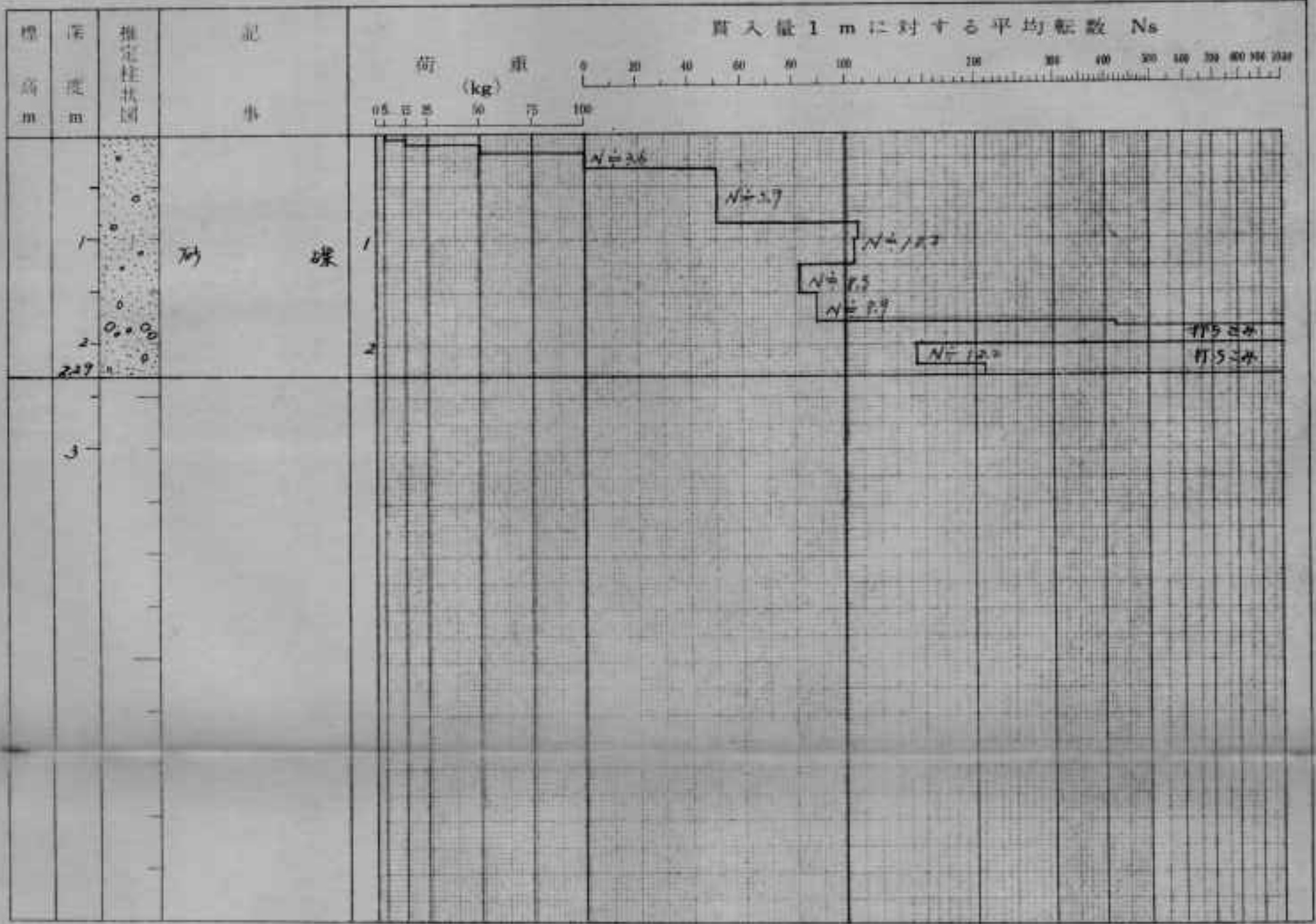
地下水位 _____

調査責任者 北川南

調査年月日 39年7月20日

最終貫入深度 2.29m

調査者 中村哲久



推定柱状図凡例



忠用地質調査事務所

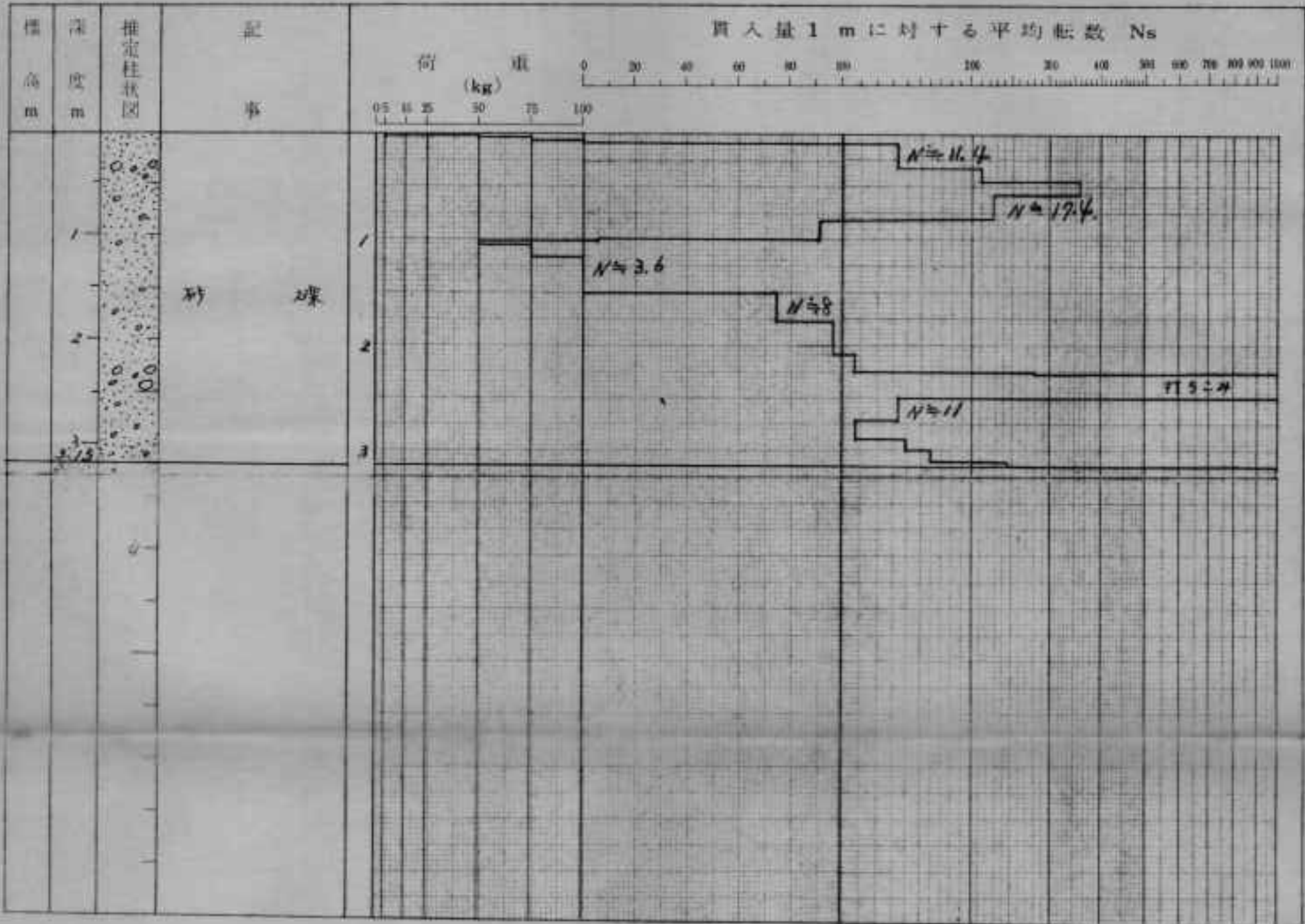
スウェーデン式サウンディングテスト

No. 3-5

調査名 新築住宅用地調査
 調査地点 長浜市新庄町
 調査年月日 39年7月20日

地盤標高 +2.54m
 地下水位
 最終貫入深度 3.15m

基準($N_s > 500$)土面標高
 調査責任者 北川南
 調査者 中村哲久



推定柱状図凡例



応用地質調査事務所

スウェーデン式サウンディングテスト

No. S-6

調査名 長浜市新庄町

地盤標高 + 9.646m

基盤 (Ns > 500) 上面標高

調査地点 長浜市新庄町

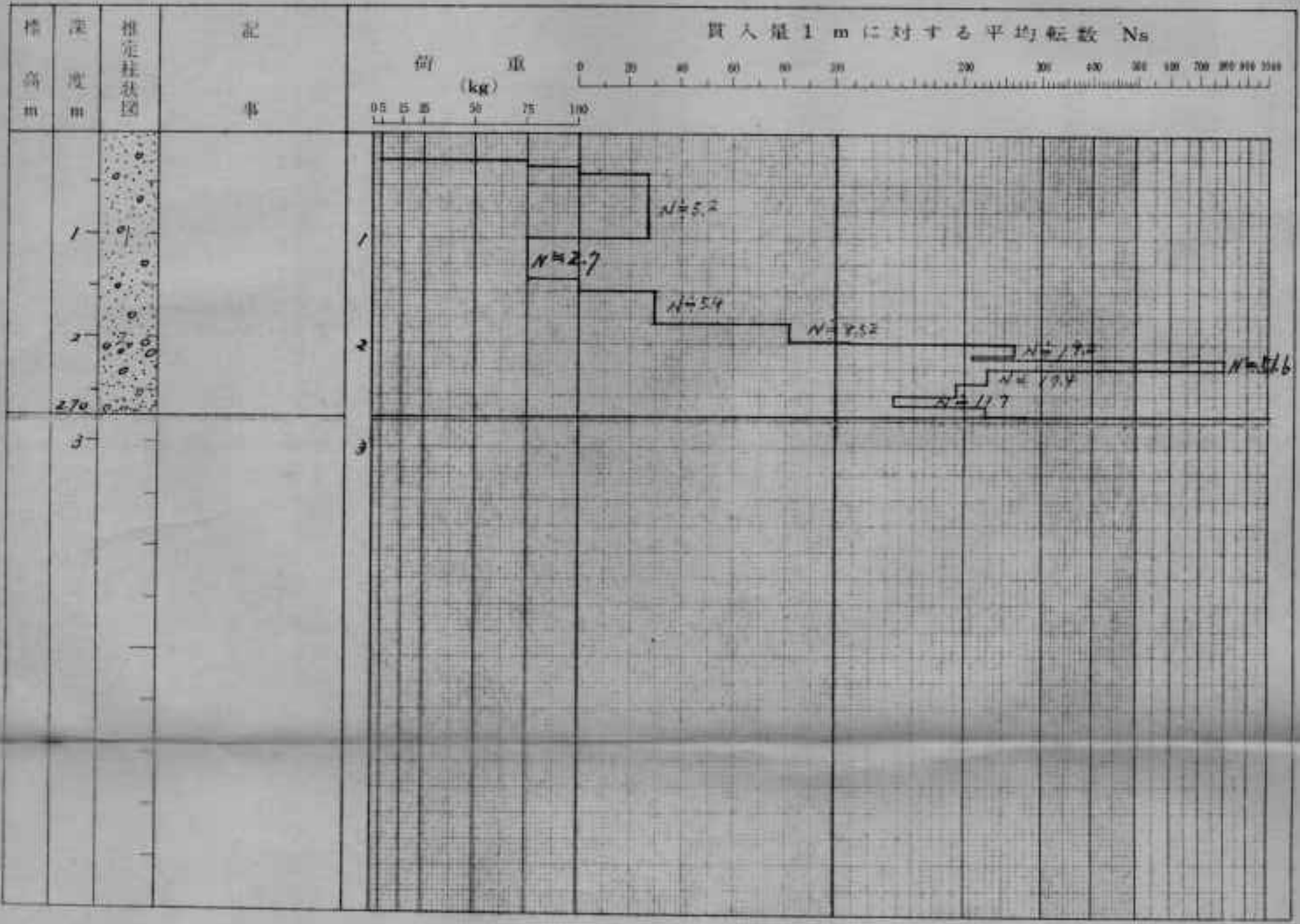
地下水位

調査責任者 北川 南

調査年月日 39年 7月 20日

最終貫入深さ 2.70m

調査者 中村 哲久



推定柱状図凡例

	砂		シルト		粘土		
	砂 質		シルト 質		粘土 質		

応用地質調査事務所